

信楽高原鐵道株式会社 事例紹介



SKR : テツコ駅長

〒529-1851 滋賀県甲賀市信楽町長野192番地
TEL:0748-82-3391 FAX:0748-82-3323
<https://koka-skr.co.jp>

目次

1. 信楽高原鐵道とは

- 1-1. 会社概要
- 1-2. 会社沿革
- 1-3. 事業内容

2. 輸送状況の推移

- 2-1. 旅客輸送人員の推移
- 2-2. 近年の定期旅客輸送人員の推移
- 2-3. 近年の定期外旅客輸送人員の推移
- 2-4. 定期収入、旅客収入の推移
- 2-5. 経常収支の推移

3. 近年の増収誘客活動紹介

- 3-1. 車両へのラッピング
- 3-2. 企画・記念乗車券、オリジナルグッズの販売
- 3-3. イベント列車の運行
- 3-4. クラウドファンディングを活用し駅舎をラッピング
- 3-5. 地域との連携

4. 当社が抱える課題

1.信楽高原鐵道とは

1-1.会社概要

注意) 令和4年3月末時点

- 昭和 8年5月 8日 (国鉄信楽線開業)
- 設 立 : 昭和62年2月10日 (第三セクター)
- 営業開始 : 昭和62年7月13日
- 営業路線 : 信楽線 (貴生川 - 信楽間)、全線単線、延長 14.7キロメートル
: 全6駅 (貴生川駅は J R 西日本所属)
- 資本金 : 4億3千2百万円
- 株 主 : 甲賀市、滋賀県など全9名
- 役 員 : 代表取締役社長 正木 仙治郎 以下取締役 7名、監査役 2名
- 従 業 員 : 正社員 13名、嘱託・臨時社員 11名、出向社員 1名

※平成25年度より、公有民営方式による上下分離を行い、第2種鉄道事業者となっております。
第3種鉄道事業者は甲賀市です。

1. 信楽高原鐵道とは

1-2. 会社沿革

- 昭和62年2月 : 会社設立（第三セクター）
- 昭和62年7月 : 営業開始
- 平成3年5月 : 列車衝突事故発生
- 平成9年4月 : 「セーフティがらき」が、信楽駅にオープン
- 平成14年10月 : 信楽駅が「近畿の駅百選」に認定
- 平成25年4月 : 公有民営方式による上下分離（第2種鉄道事業者）
- 平成25年9月 : 台風18号の影響で、杣川橋梁流失など甚大な被災
- 令和2年10月 : 近畿運輸局より、運転無事故表彰 受賞（連続6期）

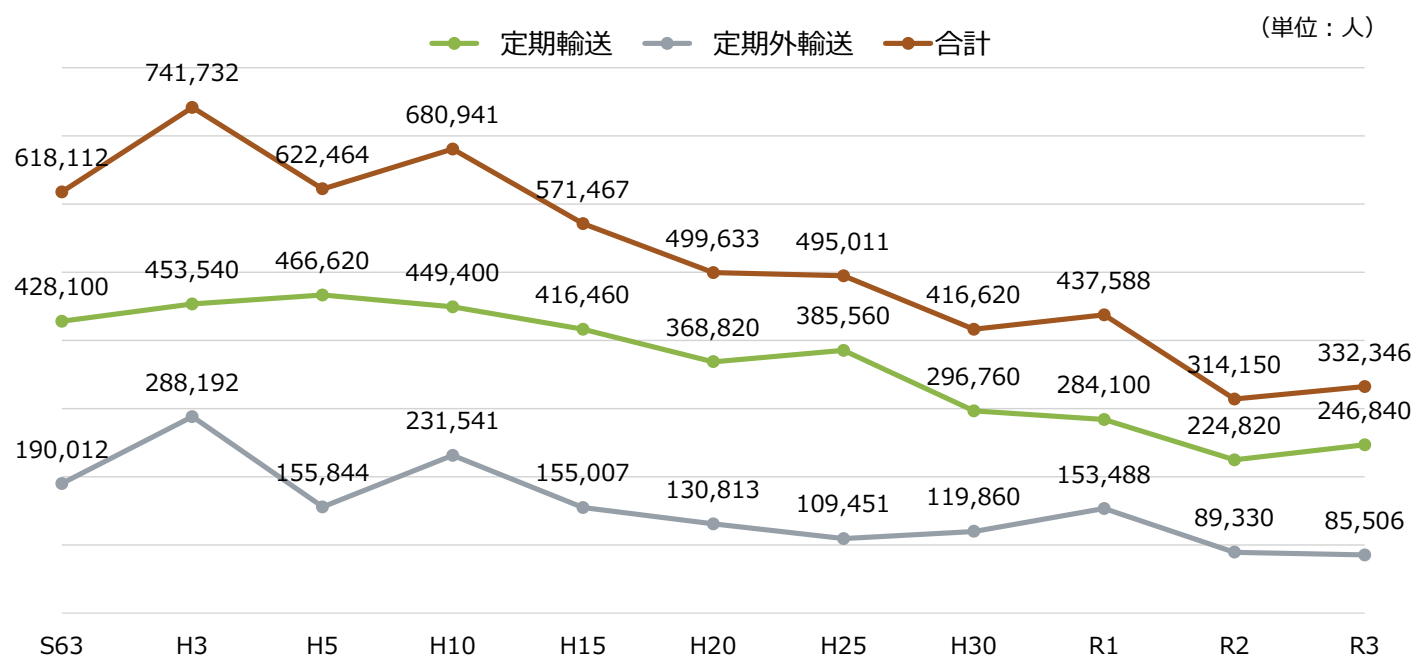
1.信楽高原鐵道とは

1-3.事業内容

- 鐵道事業
 - : 一般旅客、定期旅客、団体旅客輸送
 - : 乗車券、定期券、回数券の販売
 - : 干支切符などの企画・記念乗車券の販売
 - : 構内営業（バス・タクシー）、看板・広告
 - : 鐵道施設保守・管理業務（受託）
- 付帯事業
 - : 不動産賃貸、貸自転車
 - : 鐵道グッズなどの物販
 - : 自動販売機設置における販売手数料など

2. 輸送状況の推移

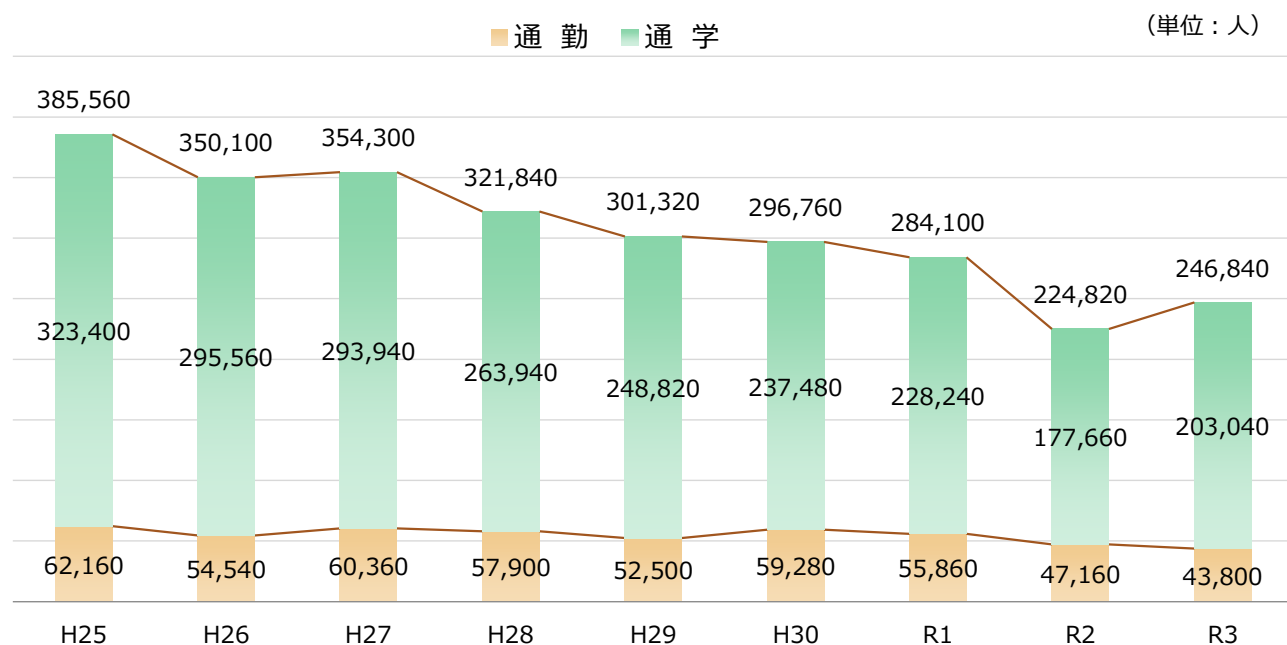
2-1 旅客輸送人員の推移（年度別）



- 近年は少子高齢化の影響が大きく、全体として平成3年度をピークに減少続く
- 定期旅客は平成25年度以降から一段と減少
- 定期外旅客は平成25年度以降から緩やかに持ち直すが、世界的流行の新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける

2. 輸送状況の推移

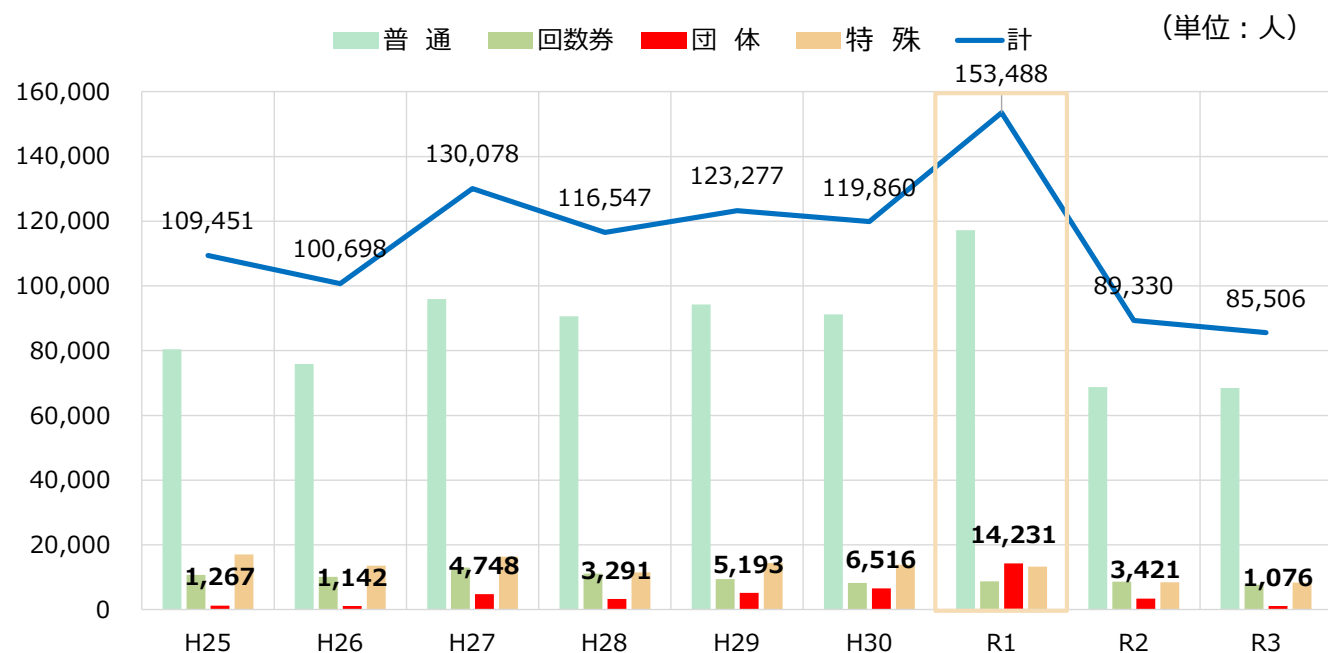
2-2 近年の定期旅客輸送人員の推移（年度別）



- 平成25年度以降は定期旅客輸送全体で年平均5～6%、通学においては年平均4%で減少が続いている
- 平成26年度に地元高等学校で学科改編が行われ、学生定員が大きく減少
- 新型コロナウイルス感染症拡大により、令和2年4～5月期は学校休校で大きな影響があった
- 今後も通学定期旅客の減少は続くため、定期外旅客を増やす取り組みが必要

2. 輸送状況の推移

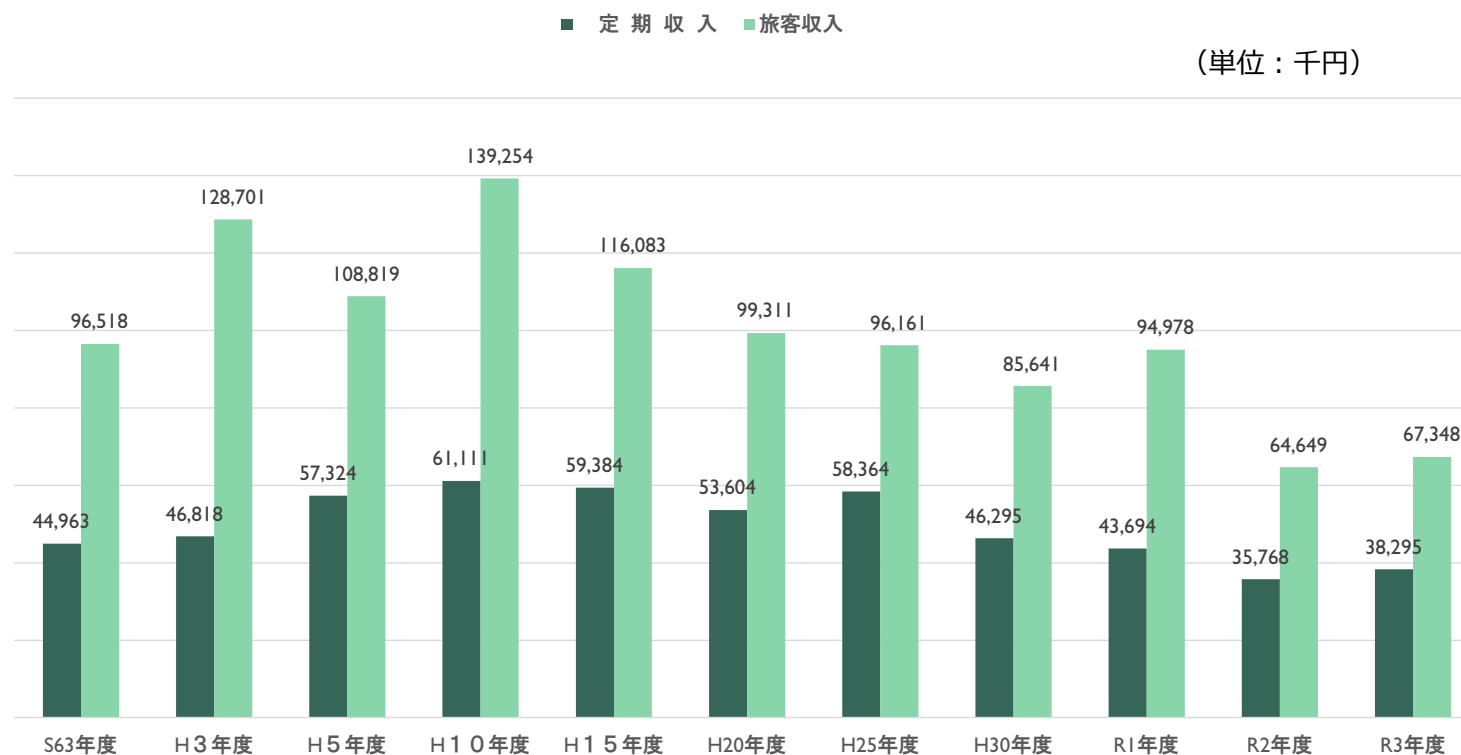
2-3 近年の定期外旅客輸送人員の推移（年度別）



- 平成25年度以降は定期旅客輸送減少の受け皿として、団体旅客の誘客に注力を開始
- 令和元年（平成31年）のドラマ放送を契機に市町全体で盛り上がり、普通・団体旅客ともに大幅増となるも、新型コロナウイルス感染症拡大により、一気に減速

2. 輸送状況の推移

2-4 定期収入、旅客収入の推移（年度別）



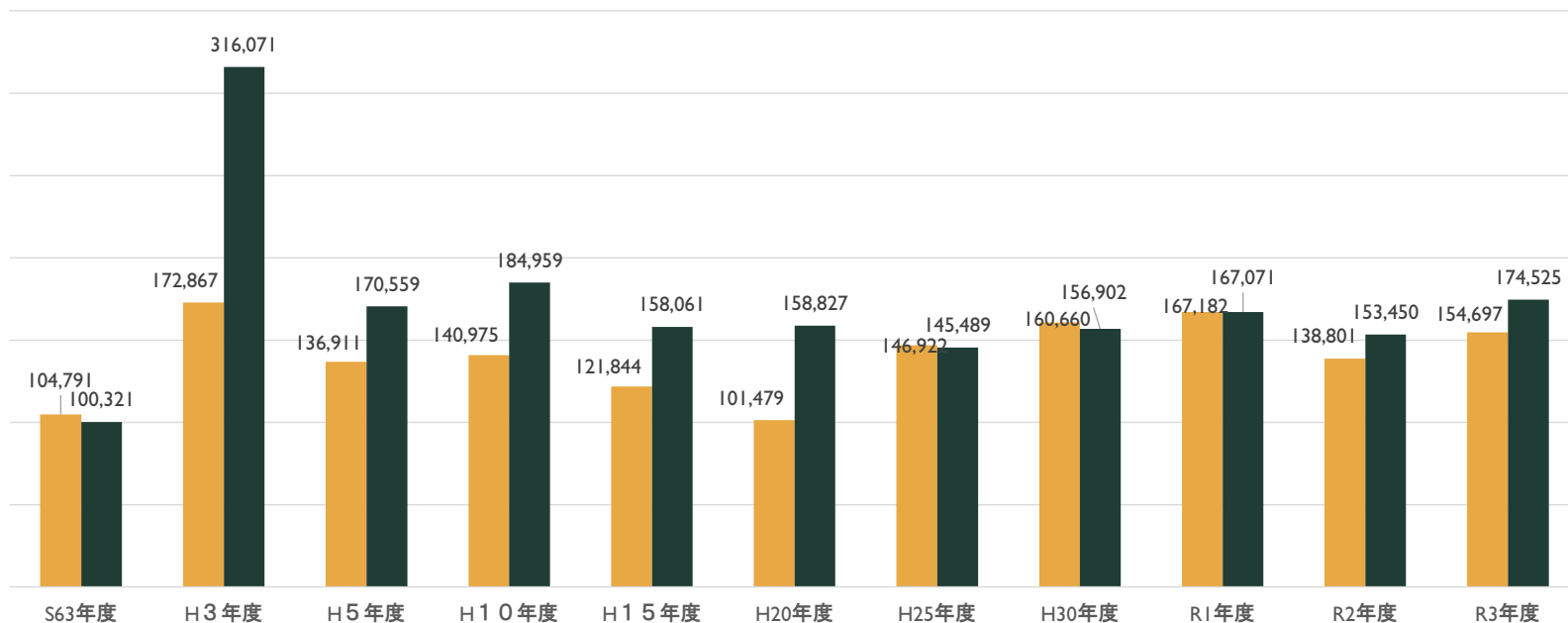
- 旅客収入のうち定期収入が、5割以上を占めている。
- 定期収入は、平成10年度をピークに平成20年度以降は年々減少している。

2. 輸送状況の推移

2-5 経常収支の推移（年度別）

■ 経常収入計 ■ 経常費用計

（単位：千円）



- 付帯事業を除く経常収支の推移を表している。
- 上下分離方式に移行した平成25年度以降は、収支が改善したが、令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり収支が悪化した。

3. 近年の増収誘客活動紹介

3-1 車両へのラッピング

①リサ・ラーソン（平成27年）



②リサ・ラーソン（令和2年）



③忍トレイン（平成29年）



④スカーレット（令和元年）



- ①、②リサ・ラーソン
滋賀県立陶芸の森で開催された『リサ・ラーソン』展示会とタイアップ。展示会割引入場券と乗車券がSETになった、共通チケットも販売しました。
- ③忍トレイン
沿線自治体の甲賀市が、2月を『忍者月間』とし、忍者のまちとしてPRする一環により実施。所々に「忍者たぬき」を配置し、信楽焼もPR。平成29年には『忍者』『信楽焼』が日本遺産に認定。
- ④スカーレット
ドラマ放送期間に合わせて、舞台となった信楽への観光誘客と利用促進を目的に実施。記念入場券の販売や、市を挙げての観光誘客プロジェクト（協議会）を展開しました。

3. 近年の増収誘客活動紹介

3-2 企画・記念乗車券、オリジナルグッズの販売

①企画・記念乗車券



②オリジナルグッズ



③鉄印帳



- ①企画・記念乗車券
毎年恒例となりました干支切符をはじめ、信楽焼とコラボした企画切符や、周年やイベントなどに合わせた記念乗車券などを販売しています。
- ②オリジナルグッズ
平成25年から販売を始めました。汽車土瓶や定番のキーホルダーなど、現在も企画・開発を継続しています。
- ③鉄印帳
三セク協加盟の40社にて令和2年7月から販売を開始し、全国的に人気となっています。

3. 近年の増収誘客活動紹介

3-3 イベント列車の運行

サンタ列車



七夕列車ほか



- **サンタ列車**
平成11年からの定番イベントです。小さなお子様からご家族連れ、沿線の保育園では恒例行事として、ご利用いただいています。また、信楽駅ホームのたぬきもサンタになってお出迎えします。
- **七夕列車ほか**
7月には七夕列車、11月には信楽『たぬきの日』に合わせて狸列車を運行し、車内装飾を施しお客様をお迎えしています。令和4年からは沿線自治体の保育園児が描いた絵を車内に展示するギャラリートレインも運行しています。

3. 近年の増収誘客活動紹介

3-4 クラウドファンディングを活用し駅舎をラッピング

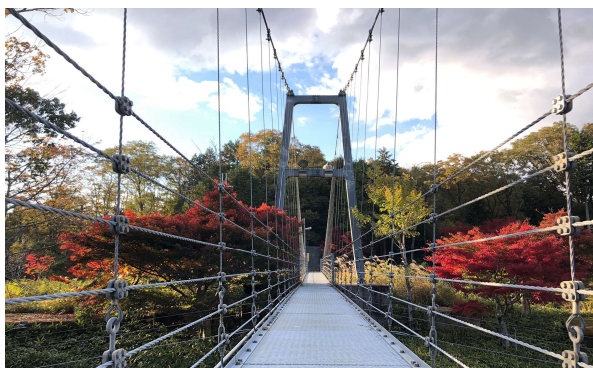
施工前（玉桂寺前駅）



施工後（玉桂寺前駅）



つり橋



第一大戸川橋梁



- 駅舎のラッピング
開業時に設置された県内でも一番乗降客の少ない玉桂寺前駅ですが、周辺には、玉桂寺、吊り橋、重要文化財の第一大戸川橋梁があり、また、「スカーレット」のロケ地も近くにあるという静かに散策するにはもってこいのロケーションにある駅です。
こういったPRと切っ掛けとなる起点整備を行いお越しいただくお客様を増やすことを目的として、クラウドファンディングを活用し駅舎のラッピングに取り組みました。

3. 近年の増収誘客活動紹介

3-5 地域との連携

駅前陶器市



- 駅前陶器市
毎年春の連休中に信楽駅前を会場として陶器市を開催しておりましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、本年度は、3年ぶりに開催したものです。

田んぼアート



- 田んぼアート
沿線の牛飼地区を軸として高原鐵道の利用促進と地域活性化を目的に田んぼアートに取り組んでいただいています。こちら3年ぶりの取り組みとなりましたが、ご乗車いただくお客様には、車窓から見える田んぼアートが大変好評です。

4.当社が抱える課題

- 収入の確保 : 少子化・人口減少などによる旅客輸送収入の減少
: 旅客や物販以外の新たな収入源の模索
- 従業員の確保 : 鉄道施設の管理・技術者（保線・電気）の確保や技術の継承
: 列車運転士（内燃機関）の確保
: 従業員の高齢化



信楽高原鐵道
Shigaraki Kohgen Railway